

全旋回オールケーシング工法

Rotary casing



既存地下外壁引き揚げ



既存地下 2F 基礎引き揚げ

既存地下 3F 基礎引き揚げ

超硬ビット付きのケーシングチューブを回転させ、コア状に切り取った地中障害を引き上げる工法です。撤去完了後は改良土・流動化材等で埋戻すことにより、後工程をスムーズに行うことが可能になります。既存躯体の種類、施工場所により機械を選択することによる幅広い選択が可能です。

特 徴

- 回転圧入したケーシング内を掘削するため、周辺地盤への影響が少ない。
- 低振動・低騒音での施工が可能。
- 地表面に出たケーシングで鉛直性を管理できるため、高精度での施工が可能。
- 撤去した地下躯体をそのまま引き上げるので目視で確認することができる。

本工法で引き揚げた既存地下鉄骨柱



地中障害撤去

